

## 運営推進会議等開催報告書

2019年7月10日

事業所名	デイサービス施設 みどり苑		
担当者	城戸陽	電話番号	0893-45-0141
1 開催日時	令和	1年	7月10日 15:30～17:00
2 開催場所	デイサービス施設 みどり苑 食堂		
3 出席者			
職員以外 4人		(利用者・家族分野)	
		(地域住民の代表者、サービスに知見を有する者分野)	
		(地域住民の代表者、サービスに知見を有する者分野)	
		(地域包括支援センター職員)	
職員 2人	清水誠一 城戸陽	管理者	生活相談員
4 活動状況報告	別紙のとおり		
5 活動状況に関する評価			
	●平成30年度 今期(10～03月)の活動は、概ね適切に実施されている。		
6 主な要望、助言等			
①	・地域の道路状況や送迎等について(※昨年の土砂災害の影響等)、現在の状況としてはどうか。資料にあったようにシルバー人材からの派遣職員も運転業務をしていると思うが、事故のないよう安全面への取り組みが重要。地元小学校との交流では、今後学生数の減少が予想されている。備品類の修理や買い替えに関して、施設の老朽化もあって苦労していると思うが、買い替え等についてはどのようにしているのか。		
②	・節電や節水について、ケアハウスでは夜間に洗濯機を回す利用者がいるが(迷惑・不眠等)、デイでは特に気になる状況は見られない。		
③	・職員の体調管理や勤務状況に関して、多様な働き方が求められていると思うが、実際のところ業務への影響はないか。職員への意思確認や現場の状況等ふまえて、働きやすい環境作りを目指して欲しい。 ・働き手はあっても、介護の仕事ということで、敬遠したり定着しなかったりすることがあると思う。サービス業に関しては、職員が辞めると職場全体の質が落ちてしまうこともあるため(※定着しない)、良好な人間関係をふくめ、自主性や意欲を持って仕事が続けられる環境が重要(※職場のハラスメント問題を含め)。また、10月からの消費税の改定に関して、他の産業を含め混乱もあると思うので、利用者や家族には十分な説明(情報開示)をしてもらいたい。		
④	・活動状況等、資料があったので分かりやすかった。新しいマッサージ器具について、実際の導入時期はいつ頃になりそうか。また、要介護2の利用者が増えた状況に関して、デイ業務内容や雰囲気への影響等はないか。		
7 要望、助言に対する考え方			
①	・通行できる道路を利用者の状態に応じて、選定しながら通行している。慣れない道路や砂利で整備された道路等もあるため、これまでと同様に車両の運転には注意していきたい。シルバー人材からの運転手についても、安全面や利用者に配慮した運転業務に努め、送迎自体は他部門からの協力も得ることで対応している。小学校との交流は、今後もできる限り定期的に続けたいと思っている(※今年から回数を増やすことも提案)。施設の消耗品や備品類については、修理できるものは修理を優先しているが、大きな金額になる物は予算を立てて購入するため、時期が遅くなったり翌年に延びたりしてしまうことがある。		
②	・洗面台や手洗いの蛇口をはじめ、電気・水道・空調のスイッチ等について、その都度見守りや近くで対応している職員が確認したり気にかけていたりしている。また、感知式の照明器具を女子トイレの足元に設置して効果等検証している(※暗い時期でないと感じが△)。		
③	・勤務条件等については、職員の意向や体調を含め必要に応じて意思確認しながら調整している。人間的に厳しい現状はあるが、無理なく働ける勤務時間へ変更したり他職員の協力を得たりすることで、業務への影響が少なくなるよう工夫をしている。メンタルヘルスに関連する、勤務時間・仕事の自由度・コミュニケーションについて留意しながら、働きやすい体制や仕組み作りを目指したい。また、施設全体として、最近看護職員と介護職員の確保が順調にできてきている印象がある(※人数が増えた)。10月からの消費税率の引き上げによる介護報酬の改定については、事前に文書等で周知や説明ができるよう対処する。今後は、事業継続のためにも十分な利用者確保し、稼働率(利用率)を向上させることで安定した収入を維持したい。		
④	・今年度から、上半期と下半期の期間それぞれに活動状況を報告できるよう調整し、内部評価と事業計画の評価時期も一致するようになった。今後、運営推進会議での資料として“自己点検表”の活用についても検討したい。新しいマッサージ器具については、早ければ今月中にも最新の器具へ入替えができる見通し(※発注済)。みどり苑での特徴として、総合事業から要介護2まで利用が全体の9割以上を占めていて、比較的多くの利用者が自主的に運動や活動に参加できている状況がある。ここ数年は、活発な印象(雰囲気)が見られ、業務自体への影響は少ない(※職員数や送迎等、人間的には厳しい)。		
8 その他特記事項			
①	2019年度からは、 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> 氏(利用者・家族分野)が運営推進会議の構成員となる(※今回は欠席)。		
②	次回、運営推進会議は令和02年1月を予定している(※01/08(水)頃)。		
③			